

## ★ Mr. ジャズ・ピアノ&ビ・バップの継承者 ★ バリー・ハリス【Barry Harris】

今年の12月15日で満80歳を迎える偉大なジャズ・ピアニストで、“ビ・バップの真の継承者”といわれるバリー・ハリス。自身の演奏に留まらず、あらゆる人に門戸を開き、後進の指導・ミュージシャン育成にも熱心で、80年代から独自に「Jazz Culture Center」を創設。そして、長年に渡るジャズ発展への貢献が認められ、2006年には「グラミージャズ栄誉賞」を受賞するなど、数々の賞を受けている。そんなバリーさんと筆者にはちょっとした関係がある。筆者がNYでウェイターをしていた頃に、週に2~3度夕方になると必ず店を訪れていたバリーさん。ウェイターと常連さんとして親しくなるうちに、バリーさんが来ると店のBGMをバリーさんの演奏に切り替えたり、お通しを多めに盛ったり、バリーさんが大好きな味噌汁に豆腐とわかめを多めに入れるなどしていたこともあり、途中から「My Japanese Son!」と呼んでもらえるようになった。今回はそんな「My American Father!」＝バリー・ハリスとのインタビューが実現した！ 取材 & 文：加瀬正之



●新しいアルバムをリリースする予定や来日の予定などはありますか？

今直ぐに新しいアルバムをリリースする予定はないけれど、今年の後半にレコーディングをする可能性があるかもしれないね。あと、東京には来年2010年1月に演奏しに行く予定だよ。

●小さい頃はどんな音楽を聴いていたのですか？ また、その頃好きだったミュージシャンは誰ですか？

その当時いつも聴いていたのは教会の音楽だった。その頃好きだったミュージシャンは教会でピアノを弾いていた自分の母親だね。

●お母さんの影響でピアノを弾くようになったのですか？

母親から4歳の時に最初のレッスンを受けたんだ。曲は全て母親が弾いていた教会音楽だった。

●ジャズと出会ったのはいつ頃ですか？

中学生（7th and 8th grade）の頃だったね。

●プロのミュージシャンとしての転機はいつ頃ですか？

ハイ・スクールでギグをしている頃かな。みんなジャズが大好きだったんだ。

●ニューヨークの最近のジャズ・シーンを見てどのように感じていますか？

決して良い状況ではないね…。あらゆることにおいてもっと改善・向上しなければならぬと感じているし、素晴らしい音楽を作るという観点から離れてきてしまっているような

気もするね。あと、若い世代の人たちにもっとジャズを聴きにきてもらいたいんだ。

●あなたが教えている生徒の中で日本人のミュージシャンもたくさんいると思いますが、将来期待の若い日本人ミュージシャンはいますか？

そうだね、若い日本人の中で何人が素晴らしいミュージシャンがいるね…。でも、申し訳ないんだけど、音楽とは違って人の名前を覚えることは苦手なんだ（笑）。今言えるのはピアニストの“Daichi”、同じくピアニストの“Kazu”、そして、ドラマーの“Kazu”あたりだね。

●ジャズを演奏する上でもっとも大切なことは何ですか？

ジャズに対する「献身」と「愛」だね。特にジャズの黄金時代に活躍したプレス（＝レスター・ヤング）(ts)、コールマン・ホーキンス (ts)、バード（＝チャーリー・パーカー）(as)、ファッツ・ナバロ (tp)、ファッツ・ウォーラー (p)、アート・テイタム (p) などについてもっと知る必要がある。彼らは本当に偉大なジャズ・ミュージシャンだからね。

●よく「ビ・バップの父」とか「ビ・バップの継承者 / 伝道者」なんて呼ばれ方をしますが、あなたにとってビ・バップとは何ですか？

ビ・バップは私にとって愛であり、人生であり、私の全てと言ってもいいよ！

●あなたが書いた曲で、よくライブでも演奏して親しまれている「ナシメント (Nascimento)」という大好きな曲がありますが、あの曲はミルトン・ナシメント (Milton Nascimento) について書いた曲なのですか？

いや、あの曲はミルトン・ナシメントについて書いた曲で

はないんだ。あの曲は1980年代にブラジルからニューヨークにやって来たある小さなドラマーのために書いたんだ。その子は当時私が主催していた「ジャズ・カルチャー・シスター」のメンバーにもなったんだ。

● 昨年あなたと一緒に演奏していたベーシストのアール・メイが亡くなったのはとても悲しく残念でしたね…。

1950年代の初めの頃、いつもアール・メイと一緒に演奏することを願っていたんだ。とても珍しい左利き(ギッチョ)のプレイヤーだったし、美しいサウンドとタッチを持った本当に素晴らしいベーシストだったからね。でも、私の人生の晩年に彼と一緒に演奏できたことは本当にラッキーだったと思っているよ。

● 次に挙げるあなたとも馴染みの深い4人のベーシストについてひとことずつコメントをもらえますか？

★ポール・チェンバース

(同じデトロイト出身でバリー・ハリスより6歳年下)

彼は私の家でジャズを学んだんだ。私にとってもとても誇りに感じる存在だった。

★ダグ・ワトキンス

(同じデトロイト出身でバリー・ハリスより5歳年下)

\* ポール・チェンバースとダグ・ワトキンスはいとこ同士

私が最初に惹かれたベーシストだね。

★サム・ジョーンズ

(名盤『アット・ザ・ジャズ・ワークショップ』(下記に紹介)をはじめ、共演機会が多かった)

私にとってお決まりのベーシストであり、偉大な友人でもあった。

★リロイ・ヴィネガー

(アルバムやライブでも共演機会があった)

ウエスト・コーストでは欠かせない人物だったよ。

4人のベーシストはそれぞれみんな素晴らしかった！

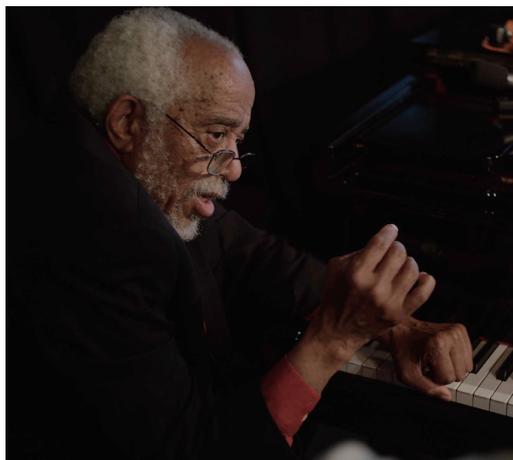


Photo by Lawrence Geoffrey

● あなたの夢やゴールは何ですか？

可能な限り偉大な存在に近づくことだね！

● 『The Walker's』の読者と日本のジャズ・ファンに向けてメッセージを頂けますか？

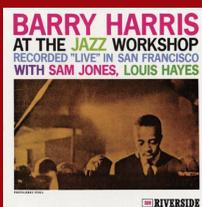
音楽(ジャズ)はとても素晴らしいもので、昔から伝わる伝統の延長・継続でもあるんだ。だから我々はそれを絶対に絶滅させてはいけないし、高い次元でそれを守るために奮闘しなければならぬんだ。そして、若い世代や後世の人たちに音楽(ジャズ)がいかに大切なものかということを理解してもらおうようにしなければならない。この作業は永遠に続くことになるんだろうけどね。

● それでは、最後の質問です。あなたは今でも日本食が大好きですか？ そして、あのレストラン(「KODAMA SUSHI」P29参照。当時は「KODAMA RESTAURANT」という店名だった)に今でも変わらず通い続けていますか？

ああ、今でも日本食は大好きだよ(笑)。「KODAMA」にも毎週通い続けているよ。週に2~3回は行っているかな(笑)。昔から「KODAMA」が一番のお気に入りのレストランだからね！

【The Official Barry Harris Website】 <http://www.barryharris.com/>

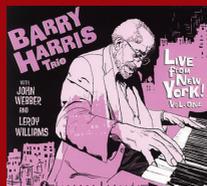
若きバリー・ハリスのトリオによるライブを収録！



アット・ザ・ジャズ・ワークショップ  
バリー・ハリス

ユニバーサル・ミュージック:UCCO-9648  
¥2,800 (tax in)  
Now On Sale!

2006年NYでのライブ演奏~名曲「Nascimento」収録！



Live From New York Vol. One  
Barry Harris Trio

Lineage Records: Lineage-102  
(Import CD)  
Now On Sale!